



「育ちのまち 下東条」

地域づくり協議会会長

大野 幸男



下東条地区の皆さん、わがまちの三人行事である「夏まつり」「体育祭」「文化祭」に積極的に参加しましょう。そして、ふるさと下東条をみんなで育てましょう。

人を育てるのは人。地域づくり協議会には各部会・委員会にたくさんの方がおられます。その方々と触れ合い、活動していくことは、互いに高め合いより豊かな人生

の道にしながらと思っています。「三人行事」には親子で参加し、一緒に楽しい時間を過ごしてください。「親の後ろ姿で子どもを育てる」きっかけになるかもしれません。

また、小学校の登下校の見守り隊、「コミセン」での寺子屋開校、老人会による子ども会での竹馬作り・・・様々な活動を通して「学び意欲」「感謝の気持ち」を持つことは人が生きていくうえで大事なことです。

子どもは地域の宝です。子どもは地域で育てる、地域で育ててもらおう。この下東条に住むいろいろな年代層の人たちがいかに意識を持てば、のびのびと子どもが育ち、その育ちを楽しみながら見守ることができるとはいいでしょう。

うか。

ひとつ懸念していることは、「防災意識」が低いことです。これは、幸いなことに下東条にはこれまで大きな災害がなかったことに起因しています。これからは「地震があればどう行動すればいいのか」「避難の仕方や場所」「炊き出しや避難後の支援はこうしていくのか」など学習していく必要があります。今年から女性中心の防災訓練が実施されています。地域のコミュニティは存続したいものです。

また今年、「コミレス」誉田の館いるどりが4年目を迎え、地域食材を活用した地産地消を推進することにより、地域の活性化を図っています。今では市外から訪れる人も多く、同窓会等、地域の交流拠点として利用されています。協議会活動と共にぜひ発展してほしいものです。

ふるさと下東条地区発展のためこれまで尽力された諸先輩方に感謝し、地区の皆さんで良い知恵を絞りながら、さらに活性化をめざしていきましよう。

女性防災グループ
「クローバー下東条」発足

6月18日(日) 市民研修センター調理室において、地域の女性たちの参加で「第1回 女性防災訓練、バック・ッキング講習会」を開催しました。



クッキングスタート

メニューは、ごはん、鶏胸肉のしょうが照り焼き、野菜とウインナーのクリームシチューでした。参加者からは、「簡単で美味しかった」「楽しかった」と喜びの声もありました。

バック・ッキングは、ポリ袋を使ってお湯につけるだけで、一人分ずつ簡単に温かい食事が作れるので、災害時はもちろんのこと、平常時にも利用できる調理法です。小

家族や高齢者世帯にも適しています。平成27・28年度の2年間、小野市ウイメンズ・チャレンジ塾生が女性の防災意識を高めるための学習会を重ねてきました。

そして今年度は、地域の皆さんに身近に防災を感じていただきたいという思いから、「女性防災グループクローバー」として「コミセン」等で楽しくわかりやすい講座を開催したいと企画しました。



おいしくいただきます

今後は、避難所運営ゲーム「HUG」・地域の防災マップ作り・市民救急救命講習会を予定していますので、皆さんの参加をお待ちしています。

下東条中央保育園
「竹馬づくり」

私は保育園児との交流会でいつも元気をもらっている老人の一人です。私たち老人クラブの男性が保育園で存在を示すことができるのが唯一「竹馬づくり」です。それは遠い昔の「体験」と「知恵」が少しだけ役に立つからです。

今年も4月の末に下東条中央保育園から「竹馬づくり」の要請がありました。私たち老人クラブの男性は喜んで参加しました。

まずはじめは材料になる竹の調達から始まります。のこぎりと鎌を持って近くの竹やぶへ出かけました。そこは、曽根町の竹やぶで毎年お世話になっている場所です。すば



まず、節をそろえよう

やく手ごろな太さの竹を見つけて必要な本数を確保しました。

保育園では、年長組の園児と保護者が材料の「竹」の到着を今か今かと首を長くして待っていてくれました。

運動場に敷かれたブルーシートの上に材料の竹を並べ、節と節の間隔が揃った竹を一つずつセットにしていきました。



足の置き場はどうだったかな

作業は竹馬づくりのなかで最大の難所にかかりました。

それは、手に持つ2本の竹に足を置く部分を取り付ける工程です。昔の体験を思い出し、知恵をふりしぼってなんとか作りあげました。

「園児や保護者に作り方を教えながら、いっしょに竹馬づくりを楽しもう」という当初の目標なんかすっかり忘れてしまつて、園庭は必死になつて竹馬づくりをしているおじいさんたちでいっぱいでした。



竹馬でかけっこもできるよ

園児たちはできあがった「竹馬」に名前を書いたり、自分だけの目印を付けたりしてはしゃいでいました。その横顔は、五月晴れの空のように輝いていました。

サークル活動紹介

今回は写真サークル「フォト遊友」を紹介します。第2土曜日の9時30分、各自撮影した2L版の写真を持

ち寄ります。撮影場所・どういつ意図で撮影したのか状況を説明した後、他のメンバーからの質問や講師のアドバイスがあります。そして講評と並行して、2か月に一度コンテストを行い、点数が多い順に一席から三席を選びます。年度末にはこの中から最優秀賞と優秀賞2点が選ばれます。



定例会でのコンテスト風景

花・鳥・スナップ、それぞれ得意の分野があるようです。中でも風景写真が多いです。風景写真の魅力は感動的な場面に会えることです。季節や時刻・光によって同じ風景でもドラマチックな光景が見られ、写真を趣味にしている本当に良かったと思います。

現在月替りで「J A 下東条支店」・「誉田の館いろどり」に写真を展示しています。



合同写真展 (みつきいホール)

また、年一回「フォト三木」との合同写真展も行っています。

サークル名のとおり遊びながら和気あいあいをモットーに女性5名、男性8名のメンバーで活動しています。

四季折々の感動の場面を求めての撮影会も年数回あり腕を磨いています。

何かやってみたいと思っている方、健康のためにも写真撮影は良いと思います。「フォト遊友」への入会をお待ちしています。

限界突破！ひびきあえ

中番小学校運動会

5月20日(土)に中番小学校の運動会が開催されました。好天に恵まれ、子どもたちは額に流れる汗もそのままに、はじける笑顔で楽しんでいました。



懸命に綱を引く1年生

初のビッグイベントです。元気いっぱい1年生は

「めっちゃ楽しかった〜！」「練習時間は短かった？」との質問にも「でも、(演技が)ちゃんとできた！」とたくましい姿を見せてくれました。



勝どきを上げる児童

今回が最後の運動会になる6年生は「今年は組立体操に旗の演技を取り入れて、最高の演技ができた！」と、とても満足したようでした。

途中、競技の勝敗後における応援団の「勝どき」とそれに応える「次は負けないぞー！」という自分たちへの激励も運動会を盛り上げるカッコいい演出になっています。来年度も子どもたちの活躍が楽しみです。

小田下町

地域ピカピカ隊

地域づくり協議会の活動支援団体である小田下町地域「カピカ隊」は、年3回町内の学童通学路である東条川北側の堤防草刈りを実施しています。本年度も6月18日に第1回目が行われ、天候は曇り、気温も適度と申し分のない作業環境でした。

学童通学の安全確保等を目的とし、早朝から約30名が参加し、黙々と作業をされていたのが印象的でした。



うっそうとしていた堤防がみるみるうちに、ピカピカになりました。

地域の財産

東条川疏水 ネットワーク博物館 ⑤

東条川疏水を知ろう！

○第5回 六ヶ井円筒分水



六ヶ井円筒分水

六ヶ井円筒分水(外径14.7m、内径4.0m)は、東条川に設置された六ヶ井頭首工で取水した農業用水を下流の六つの受益地に配分する施設で、小野市久保木町にあります。

六ヶ井頭首工は、東条川にあった六つの井堰が1965年(昭和40年)の洪水で被害を受けたため、旧六井堰を統合して造られました。

六ヶ井円筒分水によって、六つの井堰の受益地へ、それぞれの受益面積に応じて公平に、水を分配することができ

地域の大切な資源である東条川疏水をより良い形で次世代に引き継ぐために、様々な活動を行っています。

『11月23日東条川疏水の日』平成29年度の主な活動予定 ○“東条川疏水の日”

日時・11月23日(木・祝) 場所・東条文化会館

同時開催：親子疏水下り 社東条ゴルフクラブく安政池



昨年の様子 オレンジによる歌と踊り

○聞き書きプロジェクト

東条川疏水や地域の歴史を地域の方からお聞きし、書き起こす活動です。(語り手：小野市、加東市から各1名)

「ふれあい・いきいきサロン」
曾根町

曾根町では、「曾根町ふれあい・いきいきサロン」が定期的に開催されています。活動内容は、「いきいき百歳体操」と「カラオケの集い」です。



世話係のあいさつ

去る6月25日(日)には曾根町公民館において「カラオケの集い」が催されました。毎回10名ほどの参加者があり、日ごろの「自慢のノド」を披露されます。

また、歌の合間には、「カラオケの集い」のお世話をされている高井さんが用意いただいた飲み物や菓子を口にしながら世間話にも花が咲き、



十八番の熱唱

終始和やかな時間を過ごされました。カラオケには、ストレス発散効果や認知症の予防効果があります。そして地域の皆さんの憩いの場、コミュニケーションの場として最適な環境であると感じました。ぜひ、各町におかれましても、「カラオケの集い」をお勧めします。

協議会の主な行事

第39回夏まつり	8月 5日(土)
第45回体育祭	9月 3日(日)
第39回文化祭	11月 4日(土)
	11月 5日(日)
ソフトボール大会	5月 7日(日) 済
花いっぱい運動	5月20日(土) 済
	11月中旬頃
高齢者交流 ゲートボール大会	5月25日(木) 済
	10月12日(木)
高齢者交流グラウンド ゴルフ大会	7月 6日(木) 済
	9月14日(木)
	12月 8日(金)
	2月22日(木)
下東条歴史ウォーク	10月28日(土)

パソコン講習会①	9月 14、21、28
	10月 5、12
パソコン講習会②	11月16、21、30
	12月 7、14

広報編集委員紹介



現在、9名のメンバーで広報紙を作成しています。

小西 克己 玉出 勝彦
井上 茂美 進藤 香代子
飯尾 雅人 増山 裕
栗山 千恵子 前田 弘子
石井 澄也

編集後記

今年は「忬度する」といつ、普段聞き慣れない言葉をよく耳にしました。「人の気持ちを察する」という意味のようです。特定の人の気持ちでなく、多くの人の気持ちなら「空気を読む」と変化するのでしょうか。

どちらも外国の人には首をかしげる言葉だそうです。物事を丸く治めることを美德とする日本人独特のものなのか。

地域づくり協議会で様々なことを議論する機会があるのですが、全体の空気に流されない良い意見が埋没しないようにしたいものです。

本紙の編集会議でも掲載内容を検討しますが、少しずつでもより良くしようとする前向きな意見が多くあります。地域の皆さんも良いご意見をお寄せください。

(小西克己)